

募集テーマ

2040年頃の 理想のまち

データ×アイデアで未来を描こう



第8回和歌山県 データ利活用 コンペティション

ご応募・お問い合わせ先
和歌山県データ利活用推進センター

和歌山県和歌山市東蔵前丁3番17南海和歌山市駅ビル5階
TEL 073-488-2430 / FAX 073-488-2432
E-mail e0201003@pref.wakayama.lg.jp

詳しい応募方法などは募集サイトにて！

和歌山県データ利活用コンペティション



募集期間

2024.

4.1

MON

10.17

TUE

表彰

大賞

(各部門1点)

20万円

データ利活用賞

(各部門1点) 5万円

政策アイデア賞

(各部門1点) 5万円

その他、本コンペティションの趣旨に御賛同いただいた企業の皆様から、協賛企業賞が贈られます。

第8回 和歌山県データ利活用コンペティション募集要項

募集テーマ

高校生・大学生部門共通 2040年頃の理想のまち

あなたのゆかりのある地域（都道府県単位や市区町村単位のほか、任意の地域設定も可）について、データによる現状分析から、2040年頃のまちの姿を予測してください。

分析結果に基づき、未来の理想のまちについて考え、まちをどのように発展させていきたいか、よりよい未来を創るためのオリジナルのアイデアを提案してください。

考えるときのヒント



どうして「2040年頃」なの？

2040年頃に、日本全体で65歳以上の高齢者人口の割合がピークとなり、生産年齢人口の急減が同時進行で起こることに伴い医療、介護などの社会保障制度の維持や担い手不足などの社会的・経済的問題が発生することが懸念されています。（2040年問題）



提案の流れ ※一例です。

- ① 提案対象となるまちを決めよう
- ② まちに関するデータを調べよう
- ③ データから現状分析し、2040年頃のまちの姿を予測しよう
- ④ 予測したまちと理想のまちを比べて、理想を実現するにはどんな施策が必要か考えよう
- ⑤ 考えた施策について、データで検証してみよう

募集区分

高校生部門 高等学校、高等専門学校1年から3年まで、専修学校高等課程、特別支援学校高等部の在学学生

大学生部門 大学、大学院、短期大学、高等専門学校4・5年、専修学校専門課程・一般課程の在学学生

※1 高校生部門に参加される場合は、必ず指導教員を1名付けてください。

※2 参加については、複数人でのグループ参加も可能です。また、学校等の垣根を越えた編成も可能とします。

応募要件

- ① 募集テーマに基づく提案であること
- ② 応募者のオリジナルな提案であり、第三者の著作権を侵害していないこと
- ③ 現状・課題及び提案についてデータに基づく分析を行い、エビデンス(客観的証拠)に基づいていること
- ④ 他のコンテスト等において受賞歴のある作品を内容の変更なく応募することは不可であること
- ⑤ 最終審査会に参加可能であること

応募方法

受付期間中に、①及び②の提出書類を応募フォームから提出してください。

受付期間 2024年4月1日（月）から10月17日（木）まで

提出書類 ① 応募用紙 ② プレゼン資料

※ 原則、応募フォームからの受付のみとさせていただきます。

※ 応募フォームは、募集サイトからアクセスすることができます。

※ ①応募用紙の様式は、募集サイトからダウンロードしてください。

※ ②プレゼン資料は、任意の様式で構いませんが、ファイル形式はMicrosoft社Powerpointのみです。

※ 提出書類が不足していたり、ファイル形式が異なる場合は受付ができません。

募集サイト



審査の流れ

10月下旬

事前審査

(書面審査)



11月中旬

一次審査

(書面審査)



12月14日(土)

最終審査

(プレゼン審査)

■最終審査日時と会場（予定）

日時 2024年12月14日(土) 10:00～18:00

会場 和歌山県データ利活用推進センター（和歌山市東蔵前丁3番17南海和歌山市駅ビル5階）